

水産海洋地域研究集会

**第4回日本海研究集会 日本海の水産資源と環境・地域社会を考えるシンポジウム**  
－日本海沿岸で起きる急潮の実態とその予報システムの構築をめざして－

共 催：水産海洋学会，水産総合研究センター日本海区水産研究所，新潟県水産海洋研究所，  
新潟県定置漁業協会

日 時：2014年10月22日(水) 13:15～16:45

場 所：佐渡市佐渡島開発総合センター 会議室（新潟県佐渡市両津湊198）

コンビナー：渡邊達郎（水研セ日水研），近藤伸一（新潟水海研），千手智晴（九大応力研），  
井桁庸介（水研セ日水研）

挨拶：和田時夫（水産海洋学会長） 13：15～13：20

趣旨説明：渡邊達郎（水研セ日水研） 13：20～13：30

話 題

座 長：近藤伸一（新潟水海研）

1. 佐渡周辺における漁業

片野 卓（新潟県佐渡地域振興局農林水産振興部水産庁舎）・

木村和彦（新潟県定置漁業協会） 13：30～14：00

2. 佐渡における過去の急潮被害と近年実施している流速観測 14：00～14：30

池田 怜（新潟水海研）

3. 佐渡周辺海域における急潮の発生機構 14：30～15：00

井桁庸介（水研セ日水研）

一休 憩一 15：00～15：15

座 長：渡邊達郎（水研セ日水研）

4. 若狭湾におけるリアルタイムモニタリング 15：15～15：45

鮎川航太（福井県水試）

5. 高精度な急潮数値予報を目指して 15：45～16：15

広瀬直毅（九大応力研）

総合討論

座 長：千手智晴（九大応力研） 16：15～16：40

閉会挨拶：片岡哲夫（新潟水海研） 16：40～16：45

**開催趣旨：**日本沿岸では、時として強流（急潮）が発生し、定置網等の漁業に甚大な被害を与える事がある。定置網等の漁業は日本海沿岸域の基幹産業である事が多いため、急潮による経済的損失は、漁業のみならず地域経済に大きなダメージを与える。そのため、急潮発生の予測に基づく対応策の構築が急務となっており、急潮被害の低減を目指した急潮発生機構の解明、モニタリングシステムの構築、予測モデルの開発及び急潮に強い定置網の開発等が、日本海に面する各試験研究機関によって続けられてきた。これらの調査研究活動をもとに、現在、水産研究所・各水産試験研究機関・大学が一体となった包括的な急潮予測システムが構築されつつある。本研究集会では、これまで得られた調査研究活動の成果に加え、漁業現場での要望等を交えた情報を共有し、調査研究サイドと漁業現場サイドとの相互理解を進めることで、より実効的な予測システムの構築を目指すとともに、今後の急潮予測システムの展望を検討する。特に、本研究集会はこれまで調査研究活動の中心である佐渡島で実施することで、関係者間の実質的な問題点に焦点を当てて検討したい。